

異言語脱出ゲーム

糸がれるもの

～おじいとおばあさんと僕の物語～

2020.2.9sun 14:00-15:30 (受付13:40)

成城大学 (1日1回公演)



僕は方言学者の孫

あの時のおじいとおばあに伝えたい、未来の僕からのメッセージ

1960年のいしー島。

この日、この場所で、よな一島のおじいとおばあは結ばれる、はずだった…

そんな二人にとって大切な時に、現代の「僕」は二人が出会った過去の島へとタイムスリップしてしまった。

この時、おじいである俊三（としぞう）さんは、おばあである音女（うとうじょ）さんにラブレターを渡そうと決意していた。

しかし、うとうじょさんは時を超えてやってきた僕になんと惚れてしまったというのだ。

…ということは、二人の孫である「僕」も消えてしまうのかもしれない…？

三つの島の、複雑に絡み合った方言の意味を紐解きながら、二人に双方の思いを伝え、愛を紡げー

異言語脱出ゲームの新分野開拓！

国立国語研究所と共同開発！琉球諸島（奄美大島、石垣島、与那国島）をテーマに、各地の方言や文化を織り交ぜた謎を解く方言版異言語脱出ゲームです！

日時：2020年2月9日（日） 時間：14:00～15:30（受付13:40～）

お申し込みフォームはこちらから👉

会場：成城大学3号館1階 学生ホール（〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20）

■小田急小田原線/東京メトロ千代田線 成城学園前駅から徒歩4分 ■参加費：無料

※募集開始は12月18日（水）の予定です。詳細は国立国語研究所公式サイトをご覧ください。

お申し込みフォームはこちら→<https://forms.gle/FPYjbfqgvaDCghcN9>

◎お申し込み締め切りは1月15日正午になります。

厳正なる抽選のうえ、1月25日正午までに参加の可否をご連絡させていただきます。



△注意事項

以下の注意事項を必ずお読みください。

- 手話や視覚身体言語を使った、従来の異言語脱出ゲームとは異なります。音声言語のみになります。
- 方言を知らない方々を対象に、方言の魅力を感じながら解いていただく方言版異言語脱出ゲームになります。
- 1グループ4名定員です。グループでのお申込みも単独でのお申込みも可能です。お申し込みフォームにご記載いただく欄がございます。
- 推奨年齢は高校生以上です。小学校高学年レベルの日本語の読み書き、日本語のコミュニケーションができる方を対象に制作しております。
- 中学生までは保護者の方と一緒にご参加ください。
- 参加者は「スポーツ安全保険」に加入していただく旨をご承知おきください。
- 保険にお申込みする際、氏名、年齢、性別が必要になりますので、お申し込みフォームにてお聞きしています。
- ろう者、難聴者はお申し込みフォームのご要望欄にその旨を記載ください。司会者の台本を事前に配布、チェックポイントでは筆談でのやりとり等の情報保障がございます。
- その他、身体などに不安がある方は大変お手数ですが、ご予約される前に一度問い合わせ先までご相談ください。できる範囲でのご配慮を検討させていただきます。

主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所
会場提供：成城大学

コンテンツ企画・提供：一般社団法人異言語Lab.
問い合わせ先：hougendasshutsu2020@gmail.com

異言語脱出ゲームについて

ろう者・難聴者と聴者があらゆるコミュニケーション手段で協力し合いながら、手話や音声・日本語を織り交ぜた謎の数々を解きながらミッションをクリアしていく体感型のゲーム。手話、視覚言語以外の異なる言語・文化に向き合う面白さと可能性を見つけないかという思いに至り、異言語Lab.の新たな挑戦として「方言版異言語脱出ゲーム」を国立国語研究所と共同で開発しました。



一般社団法人異言語Lab.について

ろう者・難聴者、聴者が協働し、異言語同士の間が社会に与えるイノベーションを探求していくラボです。手話だけでは、音声だけでは成しえないことや、より豊かに発想し創り伝え合うことのできる方法を探っていく、コミュニケーションツールの開発に取り組んでいます。



国立国語研究所について

国立国語研究所は、国語に関する総合的研究機関として昭和23年に誕生しました。日本語学・言語学・日本語教育の国際的研究拠点として、国内外の大学・研究機関と連携しながら、日本で話されている様々な言語・方言に関わる研究に取り組んでいます。

